

## 桜 島

### 概 況

桜島南岳は、中旬に噴火活動がやや活発化しました。下旬には次第に収まりました。火山性地震は 13 日から 15 日にかけて多発しましたが、その後次第に減少しました。

### 噴火活動の状況

上旬は噴火がなく、13 日の噴火を契機に中旬は噴火活動がやや活発化し、下旬は次第に収まりました。噴火回数は計 20 回（10 月：11 回）で、そのうち爆発的噴火（爆発）は 17 回（10 月：9 回）でした（表 1）。爆発に伴う体感空振を計 12 回観測しました。爆発音、噴石の飛散はありませんでした。

表 1 11 月の日別噴火・爆発回数

日	13	14	15	16	17	18	19	20	21	23	25	28	合計
噴火回数	1	1	1	4	3	3	1	1	2	1	1	1	20
爆発回数	0	0	1	4	3	3	1	1	1	1	1	1	17

爆発は「爆発的噴火」の略称で噴火の一形態であり、噴火回数にも含まれます

### 噴煙活動の状況

20 回の噴火のうち噴煙を観測できたのは 14 回で、噴煙量はやや多量 2 回、中量 12 回でした。噴煙高度の最高は 19 日 14 時 34 分の爆発の 1,800m（火口上）でした。

### 地震・微動活動の状況

火山性地震は上旬から 12 日までは少ない状態でしたが、13 日 15 時 23 分の噴火直後から 15 日にかけて多発しました。火山性地震は 16 日から次第に減少して下旬は少ない状態で経過しました（図 1、図 2、図 6、図 7）。

火山性微動は上旬には発生しませんでした。火山性地震と同様に 13 日の噴火を契機に増加し中旬はやや多い状態で経過しました。下旬は次第に減少しました（図 3）。

震動観測点 B 点（南岳火口から北西 2.3km）での 11 月の火山性地震の回数は、271 回（10 月：107 回）で 10 月より増加しました。また、火山性微動の回数は 36 回（10 月：25 回）、微動出現時間は 7.4 時間（10 月：6.5 時間）でした。

### 降灰の状況

鹿児島地方气象台（鹿児島市東郡元町）における降灰の観測では、降灰日数は 4 日（10 月：9 日）、総降灰量は  $2\text{g/m}^2$ （10 月： $54\text{g/m}^2$ ）でした（図 4、図 8）。

### 地殻変動活動の状況

GPS による地殻変動観測では、黒神 - 野尻、黒神 - 藤野、藤野 - 野尻の各観測点間の基線長に火山活動に起因する変化は見られませんでした（図 9）。

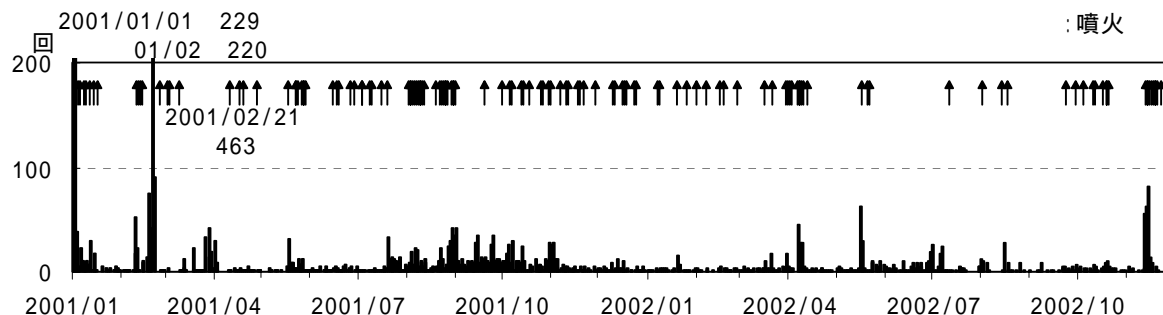


図 1 震動観測点 B 点の B 型，C 型日別地震回数（2001 年 1 月～2002 年 11 月）

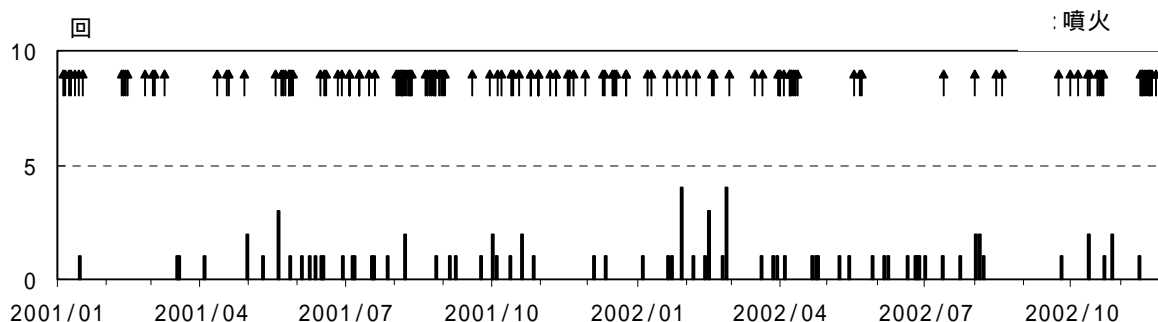


図 2 震動観測点 B 点の A 型日別地震回数（2001 年 1 月～2002 年 11 月）

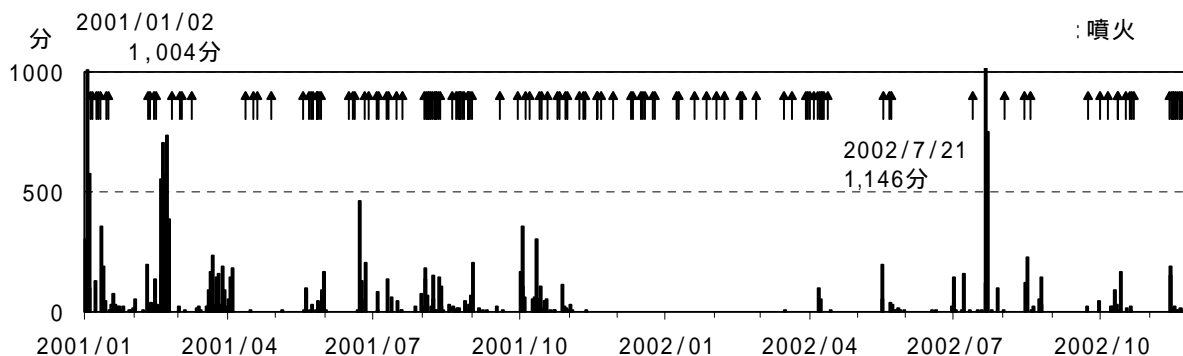


図 3 震動観測点 B 点の日別微動出現時間（2001 年 1 月～2002 年 11 月）

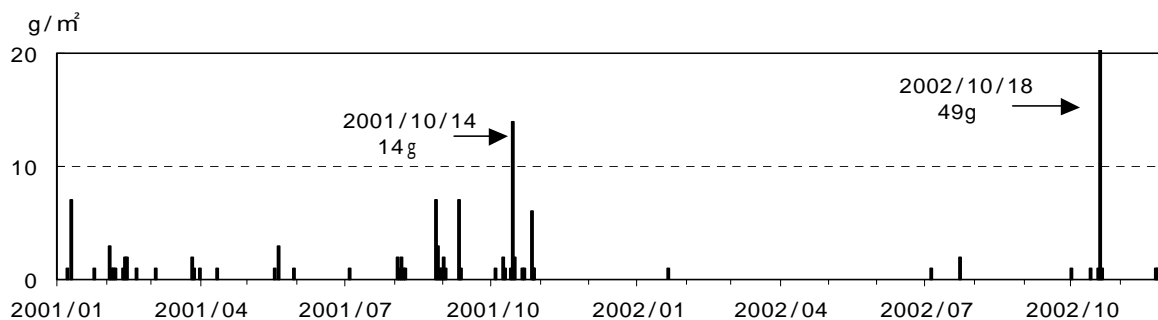


図 4 鹿児島地方気象台における日別降灰量（2001 年 1 月～2002 年 11 月）

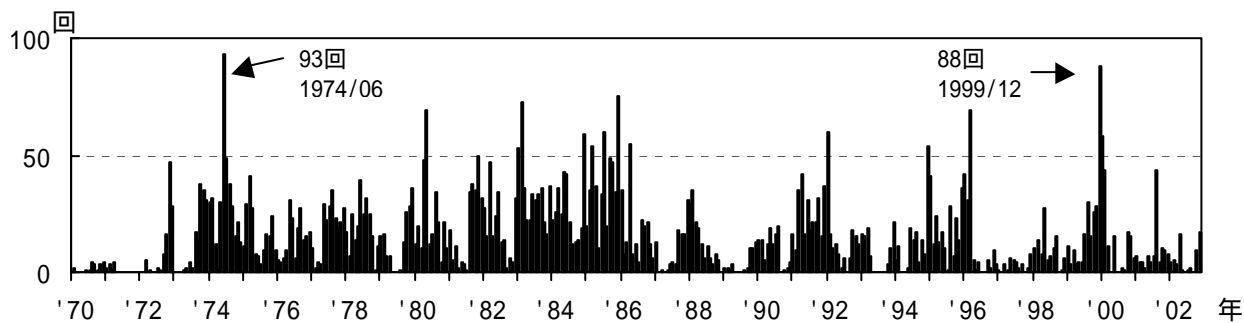


図5 月別爆発回数（1970年1月～2002年11月）

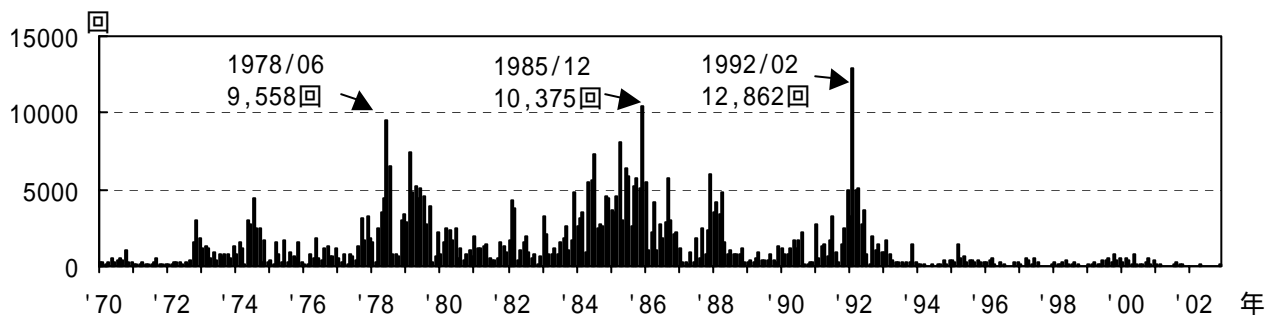


図6 震動観測点A点の月別総地震回数（1970年1月～2002年11月）

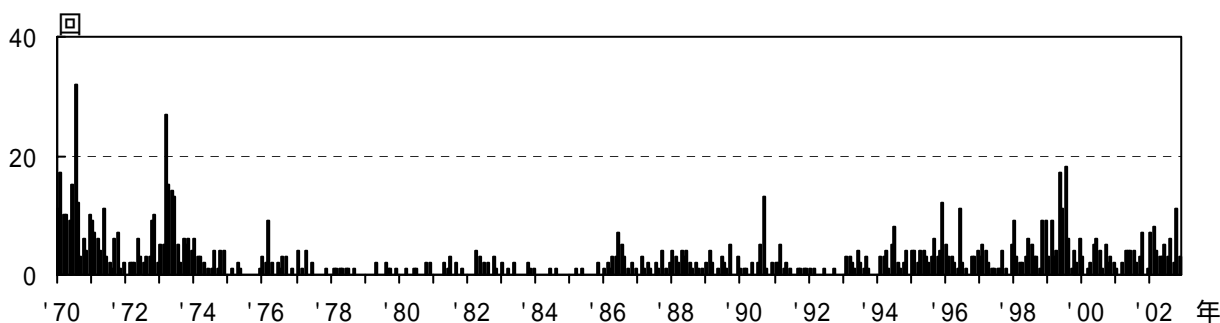


図7 震動観測点A点のA型地震月別回数（1970年1月～2002年11月）

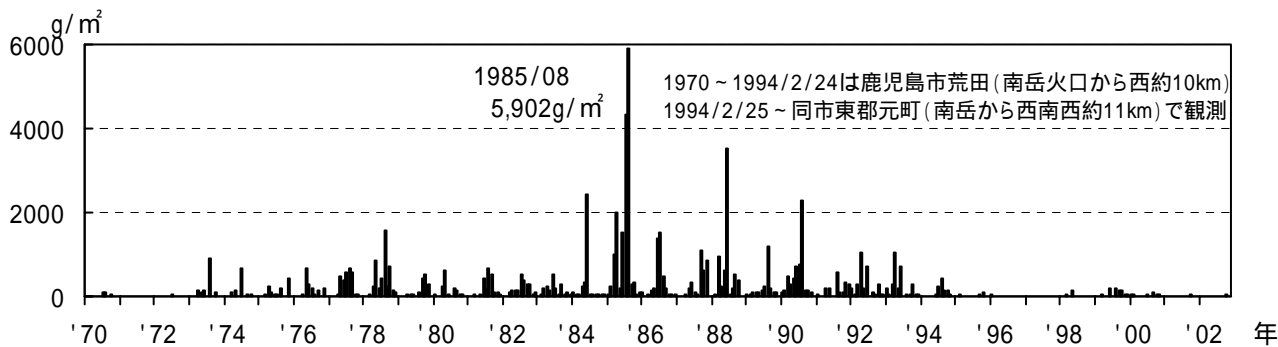


図8 鹿児島地方気象台における月別降灰量（1970年1月～2002年11月）

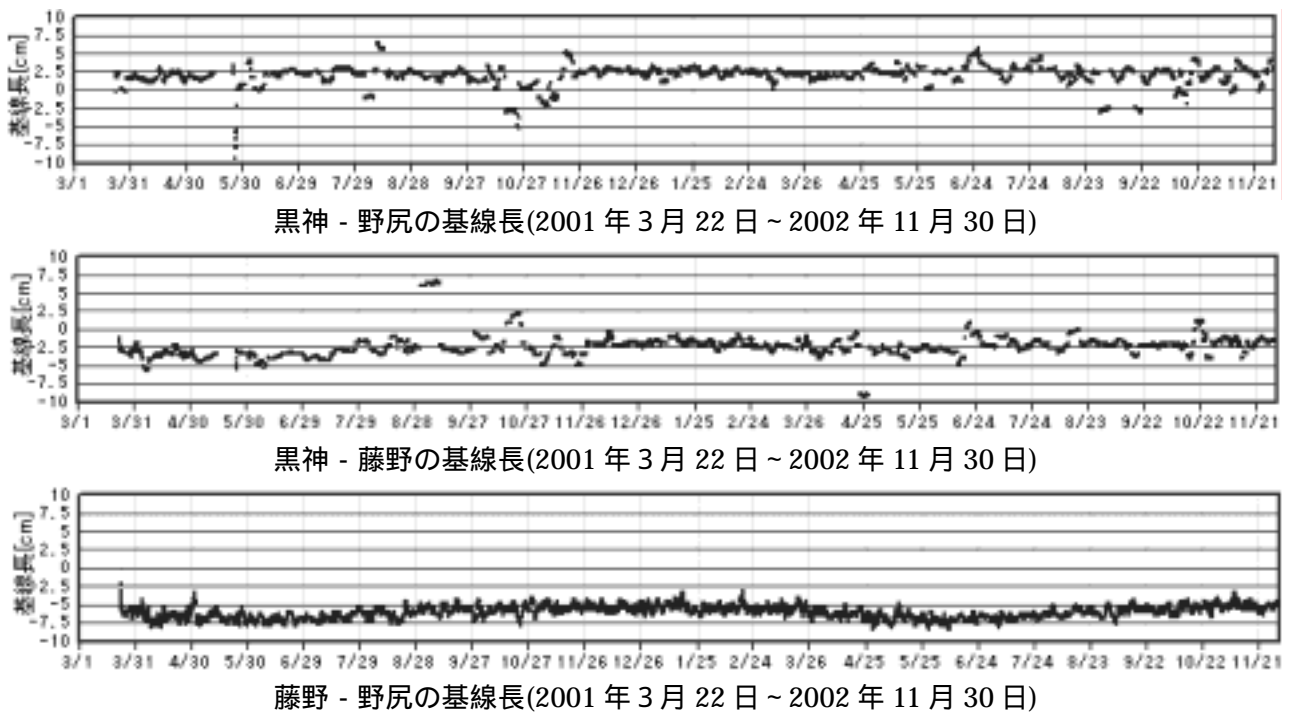


図9 GPSによる基線長

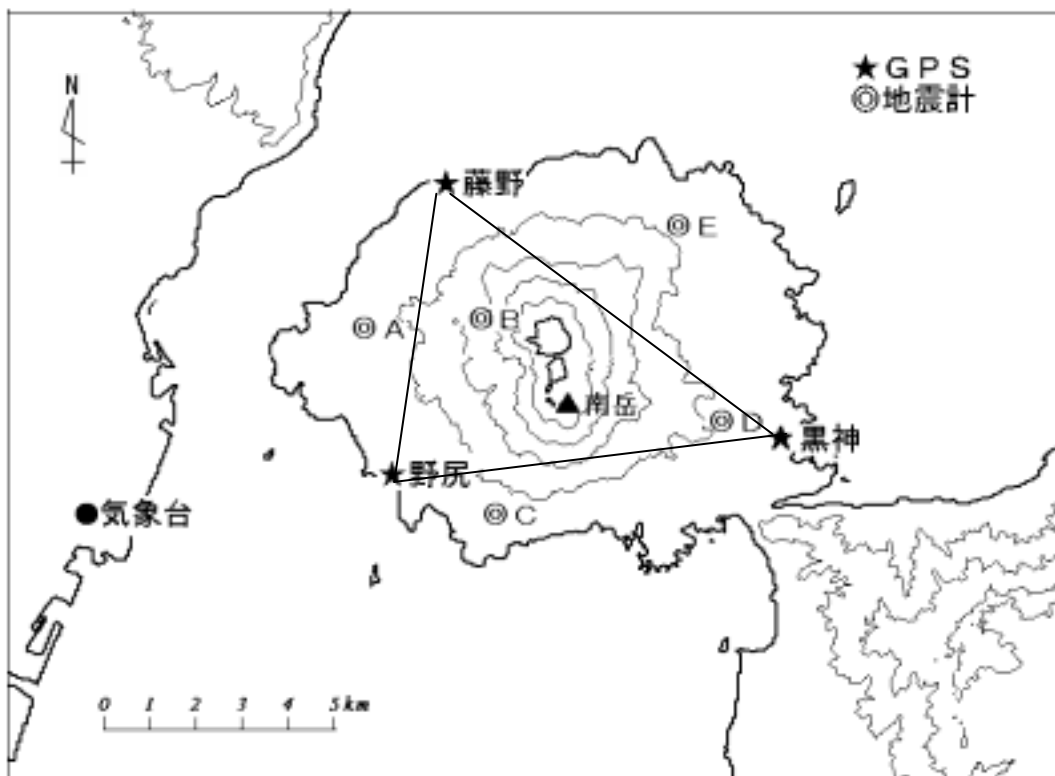


図10 観測点位置図